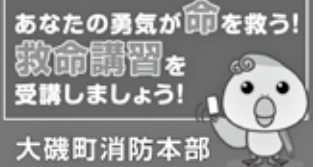


9月9日は救急の日!!

「救急の日」は、救急業務や救急医療について正しい知識と認識を深めるために制定されました。この機会に救急について考えてみましょう。

消防署 ☎(61)0911



救急救命士について

救急救命士は、傷病者を病院に運ぶ救急隊員に医療行為を認める目的で1991年に誕生した国家資格です。医師の指示を受けることを条件に、当初は静脈路の確保(※1)や器具を使った気道確保(※2)などが認められていたのみでしたが、2004年から気管挿管、2006年からは確保した静脈路から薬剤投与(アドレナリン注射)ができるようになりました。2014年には新たに処置拡大され、血糖値測定、低血糖傷病者へのブドウ糖投与、心肺機能停止前の傷病者への静脈路確保及び輸液が加わっています。

現在、大磯町では16名の救急救命士が救急現場で活動しています。

(※1) 薬の投与等のための点滴処置
(※2) 空気の通り道を確保するための処置

いそべえが救急隊長に!

救急の日には、いそべえが救急隊長になって町内で広報活動を実施します。



【1日目】

- ▼とき 9月6日(日) 9時30分～正午頃
- ▼ところ スーパーたまや 大磯店駐車場
- ▼内容 救急車の展示・乗車体験・胸骨圧迫体験

【2日目】

- ▼とき 9月9日(水) 7時30分～9時頃
- ▼ところ JR大磯駅前
- ▼内容 広報活動

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更する場合があります。

子どもの救急に困ったら

夜間、お子さんの体調のことなどのように対処すれば良いか、すぐに医療機関にかかる必要があるか判断に迷うことはありませんか。そのようなときは「かながわ小児救急ダイヤル」を利用してください。

- ▼実施日・相談時間 毎日18時～24時
- ▼電話番号 ※携帯電話、プッシュ回線からのご利用の場合 #8000 ※ダイヤル回線、IP電話、PHS等 045(722)8000

- ▼相談内容 お子さんの体調の急変等に関する一般的な助言
- ▼相談対応者 専任の相談員(看護師等)

※この相談は、助言を行うものであり、電話による診断・治療を行うものではありません。また、消防署にご相談いただくことも可能です。

口頭指導を知っていますか?

救急隊が到着するまでの間、119番センターでは電話口で適切な応急手当の指導を行います。指導に従い応急手当を実施することで、傷病者の状態を安定させることや、その状態の改善、救命の効果が期待されます。

通報時には次の情報を教えてください

- 【救急車が向かう場所】 住所がわからなければ、近くに見える目標となる物。
- 【年齢、性別、状態】 何歳の、誰が、どのような状態なのか。
- 【既往歴、かかりつけ医】 今までのような病気をしていたことがあるのか。今、通院している病院はどこか。

【通報者の名前、電話番号】

119番通報を行った人の名前と、通報している電話番号を教えてください。

ネット119とFAX119

聴覚障がい・言語障がいや音声による119番通報が困難な方を対象に、「ネット119」と「FAX119」を設けています。

- ▼ネット119 携帯電話、スマートフォンを使い、チャット形式で119番センターと情報をやり取りします。
- ▼ご利用には登録が必要です。
- ▼FAX119 局番なしの「119」番へFAX送信してください。

119番センターで受信すると、必ず受信確認のFAXを返信します。(返信がない場合は、119番センターに届いていない可能性があります。)

「緊急通報用紙」は町ホームページから取得可能です。

※「緊急通報用紙」でなくとも、通報は可能です。

※一時的に声の出せない状況の方もご利用になれます。

もしも救急車を呼ぶか迷ったら? 便利なアプリ「Q助」!!

総務省消防庁では、救急車を呼ぶときの判断や、医療機関などの情報を提供し、状態に応じた必要な対応を支援するためのアプリ、「Q助」の運用を行っています。救急車を呼ぶか、迷った時にお使いください。

消防庁ホームページからダウンロードしてください。
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyuu_app.html

